

第106回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成25年5月22日（水）午後1時00分～午後2時25分
場 所 第1会議室
出席者 今岡学長，井上理事，小路田理事，角田理事，齊藤理事，柳澤文学部長，
岩井理学部長，三木生活環境学部長，中島人間文化研究科長，野村，棚瀬，和田，
増井，松田，上江洌，出田各評議員
欠席者 栗岡評議員
列席者 小小学長補佐，小川学長補佐，内田学長補佐，酒居監事，今井監事，
小田原国際課長，大原研究協力課長，田村財務課長，人見施設企画課長，
藤熊学務課長，渡邊学生生活課長，稲垣入試課長，秋庭学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の改正について

- (1) 国立大学法人奈良女子大学理事の職務に関する規程の一部改正に伴う関係規程等の整理に関する規程（案）について

齊藤理事から，資料1-1及び参考資料により，理事の職務に関する規程の一部改正に伴う関係規程等の整理に関して説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行し，平成25年4月1日から適用することとした。

また，本規程の制定による関係規程等の整理に伴い，関連する学内策定の基本方針，ガイドライン及び申合せ等において同様の改正が必要な場合は，学長決裁により処理することを併せて承認した。

- (2) 国立大学法人奈良女子大学管理職員等の範囲に関する規程の一部改正（案）について

齊藤理事から，資料1-2により，改正の趣旨及び内容について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行し，平成25年4月1日から適用することとした。

- (3) 国立大学法人奈良女子大学学位規程の一部改正（案）について

人間文化研究科長から，資料1-3により，改正の趣旨及び内容について説明があり，インターネット利用による公表について種々意見交換がなされた。

審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行し，平成25年4月1日から適用することとした。

- (4) 奈良女子大学授業料免除及び徴収猶予選考基準の一部改正（案）について

齊藤理事から，資料1-4により，改正の趣旨及び内容について説明があり，審議の結

果,原案のとおり承認し,本日付けで施行し,平成25年4月1日から適用することとした。

2. 平成26年度概算要求について

学長から,平成26年度概算要求の学内要求事項について資料2のとおり取りまとめ,このうちから学長が戦略的な判断により要求事項を絞っていくこと,また,最終の要求内容については,学内に公表しない旨の説明があり,審議の結果,これを承認し,役員会に提案することとした。

なお,施設整備等概算要求事項について質問があり,学長から,施設整備計画室において検討する旨報告があった。

3. 附属幼稚園の保育コース及び学級定員の改訂について

角田理事から,附属幼稚園の保育コース及び学級定員の改訂について,資料3により説明があり,審議の結果,改訂案について承認し,役員会へ提案することとした。

4. その他 特になし

II 報告事項

1. 改組関連作業の進捗状況について

角田理事(全学改組検討会議議長)から,全学改組に係る検討の進捗状況について資料4により報告があり,併せて,5月24日に教職課程認定の申請書類を文部科学省へ提出する旨の報告があった。

評議員から,文部科学省へ提出した改組に係る事前伺い手続書類について,いずれ学外に公表されるものでもあり,適切な時点で教育研究評議会で報告願いたいとの要望があり,了解された。

2. 第110回役員会について

学長から,第110回役員会(4月26日(金)開催)の審議概要について報告があった。

3. 国大協近畿地区支部会議について

学長から,5月10日(金)に開催された国大協近畿地区支部会議の審議概要及び国立大学法人等を巡る最近の動向について報告があった。

4. 奈良女子大学大学院人間文化研究科規程の一部改正について

人間文化研究科長から,改組に係る教職課程認定申請のための規程改正案について,資料5のとおり作成したことの報告があった。

5. 各室からの報告等について

F D推進室:例年実施している全学共通教育の前期授業評価アンケートを実施すること,関西地区F D連絡協議会に出席予定であることが報告された。

6. 臨床心理相談センター開設記念第2回講演会の開催について

研究協力課長から、資料6により、臨床心理相談センターの開設記念第2回講演会を6月16日(日)に開催することの案内があった。

7. その他

(1) 齊藤理事から、前回審議された平成25年度計画において、環境安全管理センターに係る計画事項の中に当該年度計画から外すべき事項の記載があったことについて、文部科学省に対し差換えを行った旨の報告があった。

(2) 小路田理事から、平成25年度「地(知)の拠点整備事業」(COC)及び博士課程教育リーディングプログラムに申請したことの報告があり、関係教職員の協力に対し謝辞があった。

このことに関連して評議員から、申請書作成に必要となった博士前期課程及び博士後期課程学生の業績については、学内に集約したデータがなく作業に手間取ったことから、これらのデータ集約は全学的に対応が必要であるとの意見があり、種々意見交換がなされた。

(3) 評議員から、地域貢献事業に係る今年度の予算措置について確認があり、学長から、昨年度と同様の措置はできないため事業毎に個別対応する旨回答があり、その他本学の地域貢献事業の実施体制について意見交換がなされた。

以上